

令和2年度 藤棚地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

西区の中でも高齢化率が高い地域。ひとり暮らしの高齢者人口も多い。山坂や階段が多い地域である為、外出に困難を感じている高齢者が多く、居場所づくりや生きがいづくりが課題となっている。また、高齢化がすすむ地域を活性化する手段の一つとして、お世話する側、される側、障害、こどもの垣根のない『ごちゃまぜ共生社会』を発展させていく。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

■ 『地域住民による認知症予防活動の会の交流会』に参加し有効的で具体的な活動内容の提案をしメンバーのスキルアップと連続講座を開催することにより、地域の認知症予防の意識を高めていく。

■ 令和元年度に立ち上がった「集合住宅の住民同士で助け合う会」と他地域やケアマネジャーとが繋がることで、活動が継続・さらに充実するよう支援する。

■ 新規に自主事業として英会話講座を開催し、英会話を通して交流することを目的とした自主活動グループ立ち上げを支援する。

■ 機能訓練の必要性について(身体の動きの視点で落とし込んでいく計画書作成)の研修を行う。(ケアマネジャー・デイサービス事業所合同)

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

■ 令和元年度に立ち上がった「集合住宅の住民同士で助け合う会」の活動を周知するため、他機関(民生委員・自治会町内会・ケアマネジャー・地区センター・区役所・区社協等)と連携した。前年度依頼件数より30件ほど増加した。困りごとの解決が目的ではなく、ボランティアの方のやりがいや楽しみにつながることで、またその活動を通して「人と人とがつながるまち」・「住み続けたいまち」が実現できるように、地域の方と共に取り組めた。
 ■ 参加人数は少ないが、高齢者、障がい者、お世話をする側、される側等の垣根のない『ごちゃまぜ共生社会』を目指した事業「障がい児者余暇支援とんぼ」を開催している。
 ■ 新規に自主事業として英会話講座を開催している。今後自主活動グループとして立ち上げていく予定。
 ■ 高齢・障害・児童、すべてに垣根のない新たな居場所づくりに関する検討会が発足した。実現に向けて地域一体となり、共通する目標を持てるように丁寧にイメージのすり合わせをすることとした。しかし、新型コロナウイルス感染予防に伴い検討を延期することとした。『居場所』にこだわるのではなく、『集まらなくても、つながれる仕組みづくり』にも目を向ける必要があると気づきのあった。

区からのコメント

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、年度当初計画していた内容の中止や見直し、自主事業や貸室業務が厳しい1年でしたが、その中で地域ケアプラザとしてできる事を考え、取り組まれていました。また、コロナ禍において各団体が地域活動をどう再開していくべきか悩んでいる中、活動の再開に向けて各団体の気持ちに寄り添いながらきめ細やかな活動支援をされていました。特に昨年度立ち上がった「集合住宅の住民同士で助け合う会」の活動の幅を広げ、多様な機関と連携し活動の幅を広げた点を高く評価します。活動発表に向けて振り返りを一緒に行う事は、今後の活動のモチベーションアップに大きく寄与したと思います。これまで築いてきた関係を通して多くの声を拾い、一人ひとりの個性や特技を大切に、きめ細やかな支援をされている点、高齢・障害・こどもの垣根のない「ごちゃまぜ地域共生社会」を意識した地域づくりをされている点は大変すばらしく、今後の取組についても期待しています。